

許官

史畧

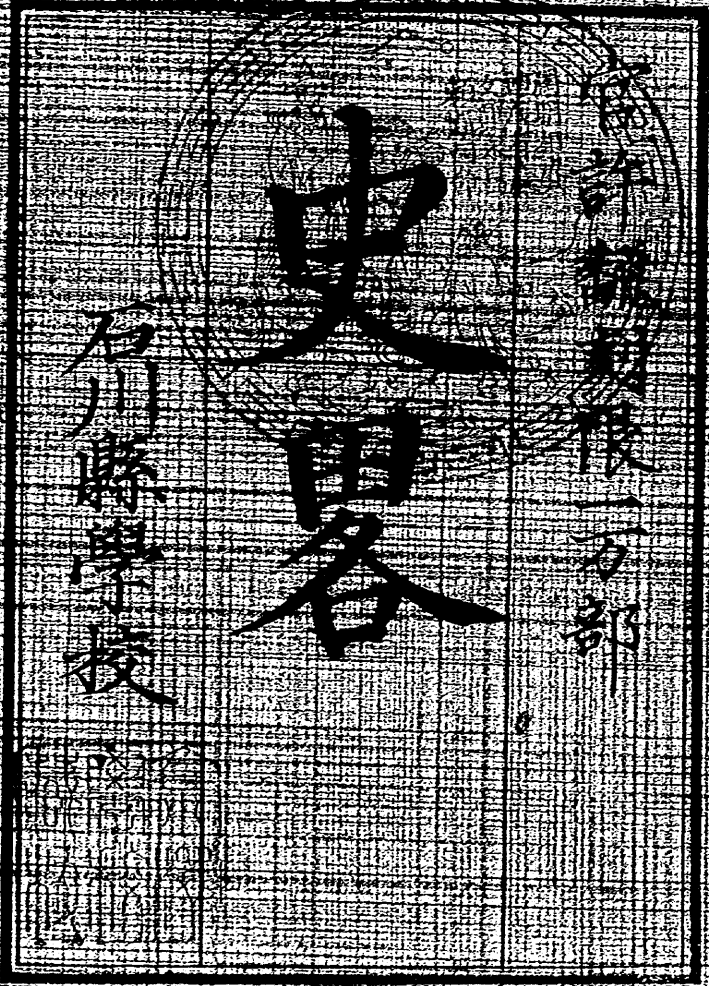
皇國

2d

K110.23

6d

明治二十一年一月一日



史略例言

一 此書幼童を以て暗誦せしめむことを要す故
 一 小簡易を旨とし、略すべし、省略不従ふ
 一 守林志、阿夜訶志、古泥、神小至り、略さざるも、簡を旨とし、略すべし、
 一 忍穂耳尊、阿夜訶志、古泥、神小至り、略さざるも、簡を旨とし、略すべし、
 一 號々書紀、此書に略稱せるを據る
 一 天皇の御名ハ、略すべし、常の御稱の之を以てし
 一 て尊號御諱等を略く
 一 飯豊天皇ハ、記紀共に御歴代不載せむを以て、今ハ

明治六年十一月廿九日

官許翻刻限一万部

史田各

石川縣學校

史略例言

- 一 此書幼童を以て暗誦せしめむことを要す故に簡易を旨とし、まづて省略不従ふ
- 一 宇林志、阿斯訶備比古、逢神より阿夜訶志古、神に至りて略さざるも簡を旨とすれはあり
- 一 忍徳耳尊より鸕鷀草葺不合尊に至りての神苑を書紀此一書に略稱せざる據る
- 一 天皇の御名ハまづて常の御稱のをもととし、尊號御諱等を略く
- 一 微豐天皇ハ記紀共に御歴代不載せしむる今ハ

史略

小従ふ

一長慶天皇ハ新葉集ヲ據テ姑ク略ク

編輯權助木村正辭

史略

神代

天御中主神

此、神天地ニ先ニ立ちて生りたかして天の正中
に在リて萬物を主宰ス

高皇産靈神

神皇産靈神

此、二神ハ天御中主神の功用ヲなす神ニて天
地ヲ始メ萬物萬事トくクまの神靈ヲ資リて成ル
出ルあり

伊弉諾神

伊弉冉神

大八洲國まゝと諸の嶋及び諸比神等を生又天

照大御神を生給ひき

天照大御神

日の神ふして高天原を治せ御神徳廣大に志

て萬物萬事又この神徳ふ依頼ざるも此ふし

此大御神の御子孫皇國統治めすなり

天忍穗耳尊

天照大御神の御子あり大神の勅を受て皇孫

を天降して皇國

統治せむ

彥火瓊瓊杵尊

天忍穗耳尊の御

子なり天照大御

神三種の神器を

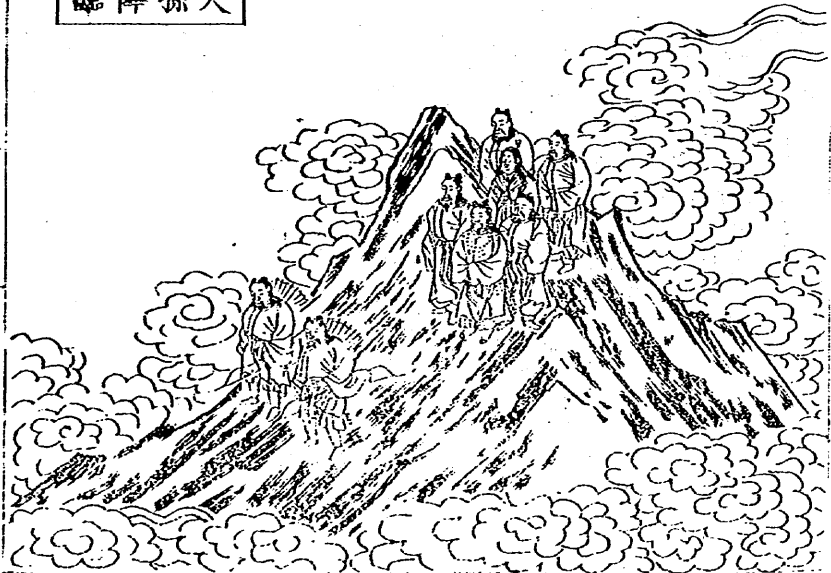
賜ひて勅給を

豊葦原瑞穂國皇

名の古の吾子孫比

王たるべき地也

天孫降臨



とよりて日向高千穂峯に天降り給ひき
彦火火出見尊

瓊瓊杵尊の御子なり此尊海津見宮に往て三
年おとよき

彦波瀲武鸕鷀草葺不合尊

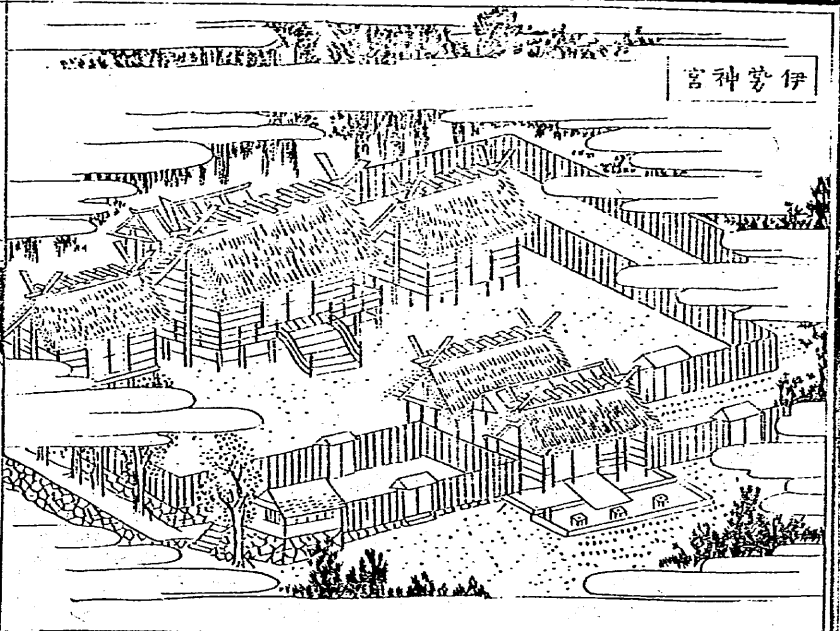
火火出見尊の御子なり

人皇

第一代神武天皇と申す鸕鷀草葺不合尊の御子
あり辛酉歳大倭播原宮に即位ましまし初
免天皇日向より東征して都を中洲に定めん

あは親ら皇族を帥て長髓彦及び諸の賊を誅伐
し遂に大倭に入宮殿を營造して帝位に即ま
ふ○第二代綏靖天皇と申す神武天皇の御子也
○第三代安寧天皇と申す綏靖天皇の御子也○
第四代懿德天皇と申す安寧天皇の御子也○第
五代孝昭天皇と申す懿德天皇の御子也○第六
代孝安天皇と申す孝昭天皇の御子也○第七代
孝靈天皇と申す孝安天皇の御子也○第八代孝
元天皇と申す孝靈天皇の御子也○第九代開化
天皇と申す孝元天皇の御子也○第十代崇神天

皇と申を開化天皇の御子也天皇敬神比意厚く
 志て天照大御神を倭の笠縫邑に移し國々比社
 を定め又四道將軍戎置て戎夷を平らぐ○第十
 一代垂仁天皇と申を崇神天皇の御子也此御代
 尔天照大御神を倭姫命に託て伊勢國五十鈴川
 上に鎮奉る今の皇太神宮是あり○第十二代景
 行天皇と申を垂仁天皇の御子也皇子日本武尊
 をして東夷戎征しむ此時尊伊勢の五十鈴宮に
 詣りて倭姫命に逢ふ倭姫命草薙劍を取て尊に
 授く尊東夷を撃平げ後遂ふ此劍伐尾張國に置



伊勢神宮

今不熱田宮に齊ま
 つれり○第十三代
 成務天皇と申を景
 行天皇の御子也武
 内宿禰を大臣や
 國郡縣邑を定む○
 第十四代仲哀天皇
 と申を日本武尊の
 御子也○第十五代
 神功皇后と申を仲

哀天皇の皇后あり仲哀天皇崩して御子のまゝ
御降誕せむとす皇后攝政して天下を治る又
三韓を伐て従えしむ○第十六代應神天皇と申す
仲哀天皇の御子御母ハ神功皇后也百濟國あり
王仁來りて論語を獻す○第十七代仁徳天皇と
申す應神天皇の御子あり民比貧きを知て三年
租税を免す○第十八代履中天皇と申す仁徳天
皇の御子也此御代文筆不達したる者を諸國に
分ち置て其國々比言事を記さしむ○第十九代
反正天皇と申す履中天皇の同母弟也○第二十

代允恭天皇と申す反正天皇の同母弟也百官諸
臣比姓氏を改め正す○第二十一代安閑天皇と
申す允恭天皇の御子也○第二十二代雄略天皇
と申す安閑天皇の同母弟也此御代ハ豐受太神
を丹波國と伊勢比山田原に移す○第二十三
代清寧天皇と申す雄略天皇の御子也○第二十
四代顯宗天皇と申す市邊押磐皇子の御子也
て履中天皇比御孫也○第二十五代仁賢天皇と
申す顯宗天皇の皇孫也○第二十六代武烈天皇
也申す仁賢天皇の御子也天皇法令きびしく

て國人皆怖る○第二十七代繼體天皇と申は彦
 主人王の御子應神天皇の玄孫也○第二十八代
 安閑天皇と申す繼體天皇の御子也○第二十九
 代宣化天皇と申す安閑天皇の同母弟也諸國不
 屯倉を修し凶年以備之○第三十代欽明天
 皇と申は繼體天皇の御子也百濟國より佛像經
 論送獻す○第三十一代敏達天皇と申は欽明天
 皇の御子也蘇我馬子佛法を信じて物部守屋等
 争ふ○第三十二代用明天皇と申は欽明天皇の
 御子也○第三十三代崇峻天皇と申は欽明天皇

の御子也蘇我馬子
 謀反をふして東漢
 直駒討つる天皇を
 弑せし免尋て馬子
 其駒を殺し吾君を
 弑せし賊を誅すや
 いふ○第三十四代
 推古天皇と申は用
 明天皇の同母妹也
 厩戸皇子を太子と

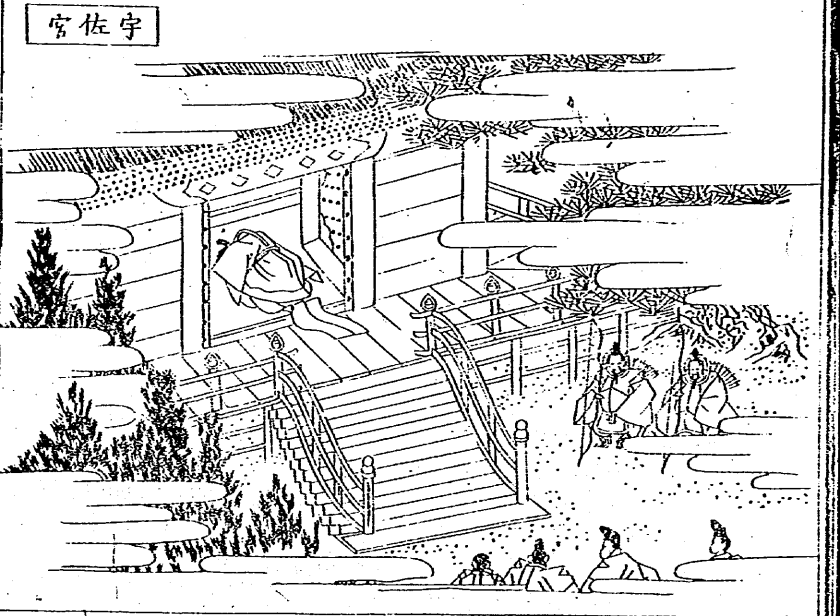
遣隋使小野妹子



志て攝政せしむ冠位十二階を定む小野妹子を
 隋國へ遣はせ○第三十五代舒明天皇と申す押
 坂彦人大兄皇子の御子也○第三十六代皇極天
 皇と申す舒明天皇の皇后茅渟王の御女也蘇我
 蝦夷其子入鹿逆威を振ふ中大兄命天皇なり中臣
 鎌足等不謀り父子然誅之○第三十七代孝徳天
 皇と申す皇極天皇の同母弟也此御代始て年號
 を立て大化元年といふ神武天皇即位辛酉年よ
 己今年乙巳不至りて千三百五年にあたり畿内
 然定免國々に司を相多關所驛傳を定め其外さ

まよりの法を制し八省百官冠位等の事を定む
 ○第三十八代齊明天皇と申す皇極天皇重祚の
 御號あり重祚とて位讓て又再び位不即くな
 り○第三十九代天智天皇と申す舒明天皇の御
 子形而此御代に諸王諸臣の位二十六階を定免
 戸籍の法然定む○第四十代弘文天皇と申す天
 智天皇の御子也天皇位不即に及び大海人皇
 子天皇武天皇を擧天皇とを拒て利あらば遂ふ
 山前に崩せぬ水子壬申の亂といふ○第四十一
 代天武天皇と申す天智天皇の同母弟也八種の

姓ナリも作り爵位ウヂノミを改カめ朝服の色を定サむ國々の堺サカイも分ワつ○第四十二代持統天皇と申す天武天皇の皇后ミコノもて天智天皇の御女也○第四十三代文武天皇と申す草壁皇子クサカキノミコ皇ミコ後ノと申マす天の御子也衣服の色を定め又律令として公オホミヤ比ヒおきて書シを撰テ定サむ○第四十四代元明天皇と申す天智天皇の御女也○第四十五代元正天皇と申す文武天皇の同母姊也此御代ミコノに古事記コトヰす日本書紀ニッポンノキを撰テはシむ○第四十六代聖武天皇と申す文武天皇の御子也陸奥國ムツノより始ハめて黄金オウゴンを奉タる○第四



十七代孝謙天皇と申す聖武天皇の御女也○第四十八代淳仁天皇と申す舍ト人親王オノ後ノ崇道スミチノミチ皇帝ミカドと申マすの御子也孝謙上皇天皇を廢クして淡路國タニに遷リて再び御位ミカドノイに即シく○第四十九代稱徳天皇と申

宇佐宮
 〇八

孝謙天皇の重祚也。天皇弓削道鏡と云法師を
 深く御寵有りて法王の位を授く。道鏡猶あつた
 皇位につかむらとを望む。是に於て和氣清麻呂
 を勅使とし、宇佐大神の神託を請む。其神語
 不我國関關以來君臣定る。天日嗣を必成皇緒を
 立べし。やありとて其事止む。○第五十代光仁
 天皇と申す。施基皇子後と申す天の御子也。○第
 五十一代桓武天皇と申す。光仁天皇の御子也。都
 を山城國不遷遷して平安城と名づけ。歴代の皇居
 や定め。淡海三船不仰せ。神武天皇以來比帝王

の謚號を定む。此御代不續日本紀成。○第五十二
 代平城天皇と申す。桓武天皇の御子也。○第五十
 三代嵯峨天皇と申す。平城天皇の同母弟也。天皇
 學問を好み詩をよくし筆道不絶絶あり。○第五十
 四代淳和天皇と申す。嵯峨天皇の御弟也。此御代
 不令義解を撰むし。又上總常陸上野を以て親
 王の任國とす。○第五十五代仁明天皇と申す。嵯
 峨天皇の御子也。此御代不日本後紀成。○第五十
 六代文徳天皇と申す。仁明天皇の御子也。○第五
 十七代清和天皇と申す。文徳天皇の御子也。此御

代不續日本後紀成○第五十八代陽成天皇と申
 古清和天皇の御子也此御代不文徳天皇實録成
 ○第五十九代光孝天皇と申是仁明天皇の御子
 也○第六十代宇多天皇と申是光孝天皇の御子
 也天皇讓國のやま此御誠ありらまを寛平御遺
 誠といふ○第六十一代醍醐天皇と申す宇多天
 皇の御子也天皇久しく世を治えて美事多した
 る時平の讒ふまりて道真を太宰府に左遷す天
 下あれを寛と名○第六十二代朱雀天皇と申是
 醍醐天皇の御子也此時平將門藤原純友等の亂

あり世不天慶の
 亂といふ是也
 又○第六十三代
 村上天皇と申是
 朱雀天皇の同母
 弟也此時内裏炎
 上す神鏡灰中
 り出圓規損ま
 事なり○第六十四代冷泉天皇と申是村上天皇
 の御子也○第六十五代圓融天皇と申是冷泉天

菅公



皇の同母弟也○第六十六代花山天皇と申也冷泉天皇の御子也○第六十七代一條天皇と申也圓融天皇の御子也○第六十八代三條天皇と申也冷泉天皇の御子也○第六十九代後一條天皇と申也一條天皇の御子也○第七十代後朱雀天皇と申也後一條天皇の同母弟也○第七十一代後冷泉天皇と申也後朱雀天皇の御子也陸奥北土豪安倍賴時其子貞任亂をなせ源賴義命て討しむ○第七十二代後三條天皇と申也後朱雀天皇の御子也記録所を置訟を聽玉ふ○第七

義家追真任



○十一

十三代白河天皇と申也後三條天皇の御子也天皇位を遜りて後政を院中奉聽依て諸國院宣を重む○第七十四代堀河天皇と申也白河天皇の御子也此時出羽國に於て武衡家衡亂を作せ源

義家ヨシカこきを討つ○第七十五代鳥羽天皇と申せ
堀河天皇の御子也天皇容儀を修し衣冠の裁製
を美す也○第七十六代崇徳天皇と申す鳥羽天
皇の御子也上皇近衛天皇を立むと欲し天皇は
論して位を禪らしむ後又天皇を讃岐國に遷せ
○第七十七代近衛天皇と申す鳥羽天皇の御子
也○第七十八代後白河天皇と申す鳥羽天皇の
御子也近衛天皇崩せ崇徳上皇の長子重仁位に
即べし是より鳥羽法皇天皇を立是より放て上
皇憚らば法皇崩するに及んで上皇兵を擧げ天皇

源義朝平清盛等をして代り也上皇を讃岐に遷
せしむる保元の亂といふ○第七十九代二條天
皇と申せ後白河天皇の御子也藤原信賴謀反せ
平清盛その子重盛をしてこれと誅を既し
清盛權を專らし王室の権寢衰ふ○第八十六
條天皇と申せ二條天皇の御子也○第八十一代
高倉天皇と申せ後白河天皇の御子也○第八十
二代安徳天皇と申せ高倉天皇の御子也源頼朝
兵を起す諸國の源氏蜂起してこれに應じ源義
仲平氏と戦て勝時平清盛薨せ宗盛一族を率ひ

主上を守護して筑紫へ走る京師を放て尊成親
 王位に即後鳥羽天皇是あり○第八十三代後鳥
 羽天皇と申も高倉天皇の御子也源義仲惡逆頼
 朝これらを伐つ誅し又平氏を伐て滅ぼす此時二
 位、尼安德天皇を抱き海底に沈むといふ是に於
 て頼朝を諸國總追捕使に任むられり天下に
 權悉く鎌倉に歸ち朝廷益衰ふ○第八十四代土
 御門天皇と申も後鳥羽天皇の御子也此時頼朝
 の子頼家將軍となり執政北條時政推を恣に頼
 家を伊豆に放ち實朝を立○第八十五代順徳天

皇と申も後鳥羽天皇の御子也源公曉將軍實朝
 を暗殺す依て藤原頼經を大將軍となし北條義
 時執權たり○第八十六代仲恭天皇と申も順徳
 天皇の御子也義時暴虐天皇を廢し三上皇を遷
 す○第八十七代後堀河天皇と申も高倉天皇
 の御孫也○第八十八代四條天皇と申も後堀河
 天皇の御子也○第八十九代後嵯峨天皇と申も
 土御門天皇の御子也頼經の子頼嗣を大將軍に
 任す○第九十代後深草天皇と申も後嵯峨天皇
 の御子也北條時頼執權となり頼嗣を廢ち宗尊

親王を大將軍に任
 せ○第九十一代龜
 山天皇と申す後深
 草天皇の同母弟也
 宗尊親王を廢し其
 子惟康王を大將軍
 に任す此條時宗執
 推たり此時元使來
 るときを逐還す○
 第九十二代後宇多

天皇と申す龜山天皇の御子也元の兵來り寇す
 伐て却く元又大舉入寇を我兵とせと奮戦す時
 小大風起り虜艦を覆へず元兵生て還る者三人
 ありれを弘安の役といふ○第九十三代伏見天皇
 と申す後深草天皇の御子也此條貞時執權たり
 惟康親王を廢し久明親王を大將軍に任す○第
 九十四代後伏見天皇と申す伏見天皇の御子也
 ○第九十五代後二條天皇と申す後宇多天皇の
 御子也久明親王を廢し其子守邦王を大將軍に
 任す○第九十六代花園天皇と申す伏見天皇の

元伐



御子也貞時卒す北條高時執権あり○第九十七
 代後醍醐天皇と申す後宇多天皇の御子也天皇
 北條氏の権を専らするに怒り是を誅滅せん
 事泄して高時京師を襲ふ天皇笠置に幸し楠
 正成を召し興復の事を委ぬ高時皇太子量仁を
 奉じて帝と為す是を先嚴天皇と稱す後伏見
 天皇の御子也後つひに南北兩朝とわける足利
 尊氏新田義貞等起て北條高時を誅す車駕宮に
 還る尊氏功に誇る義貞をして追討せむ戦ひ
 利ありむ正成又湊川に於て戦死す是に於て天

楠正成



皇吉野不幸に尊氏
 豊仁親王を奉じて
 帝と為す水と光明
 天皇と稱す先嚴天
 皇の同母弟也○第
 九十八代後村上天
 皇と申す後醍醐天
 皇の御子也吉野賀
 名生宮に幸し位に
 即新田義貞楠正行

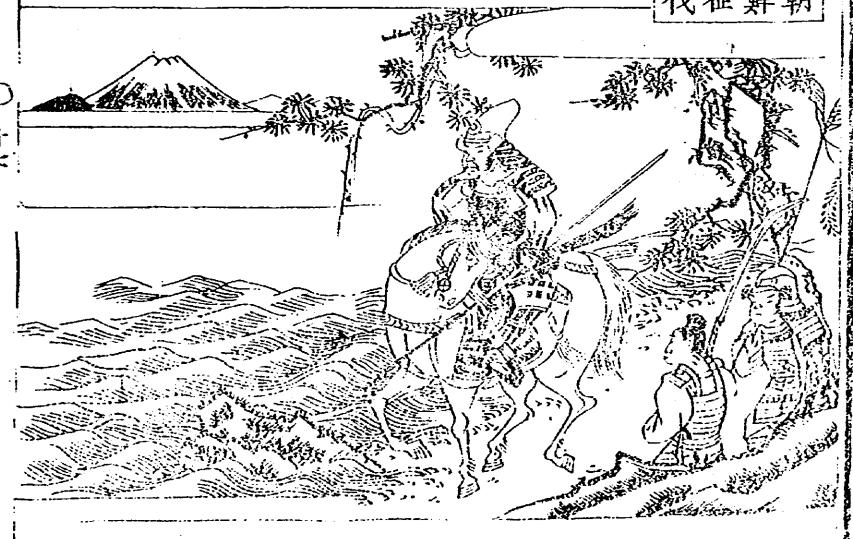
戰死也北方位也興仁親王オホキミ傳トク崇光天皇スミタカと稱
ま光嚴天皇の御子也源顯能タカノリ楠正儀等京を攻て
光嚴光明崇光の三主を得て歸る義詮ヨシノブ彌仁親王
と奉ホウトク帝とあす後光嚴天皇キミと稱ナリま崇光天皇
の同母弟也○第九十九代後龜山天皇カメヤマと申イハ後
村上天皇の御子也北方ホクフにて足利義滿ヨシツネを大將軍
に任タテマツ後光嚴天皇位を御長子緒仁親王オホニに讓ユツ
後圓融天皇マカノと稱ナリま既スナハトク又位タテマツ御子幹仁王
に讓ユツる後小松天皇コノマツこれなり○第百代後小松天
皇と申イハ南ミナミ北キタ講和コウワ成ナリて後龜山天皇京師キョウシに還カエり

神器タカラを天皇ミコに傳トクふ義滿將軍ヨシツネを辭クサま其ソノ子義持ヨシモチを
以モツて大將軍オホタケノヲに任タテマツむこまもり以下代々足利氏アシカシ氏
以モツて大將軍オホタケノヲに任タテマツむ○第百一代稱光天皇シヨウカウと申イハ後
後小松天皇の御子也○第百二代後花園天皇ハナヅメと
申イハま崇光天皇の曾孫也赤松滿祐將軍アカノネ義教ヨシノブを弒
ま山名持豐ヤマナ伐キてあまを誅コロスま○第百三代後土御
門天皇ツチミカドと申イハ後花園天皇の御子也○第百四代
後柏原天皇カシハラと申イハ後土御門天皇の御子也○第
百五代後奈良天皇ノナラと申イハ後柏原天皇の御子也
○第百六代正親町天皇オホキミと申イハ後奈良天皇の御

子也天皇位ミコクラ子即シテに及で毛利元就モリモトヨシ資を厭イヤして禮儀を調ナふ三好義繼ヨシツグ將軍義輝ヨシテルを弒コロス織田信長オダナガ義輝の弟義昭ヨシマサを立て將軍とす後義昭信長を伐ウツむ事を謀る依て信長義昭を河州カワノに幽ウツむ是に於て足利氏亡ぶ明智光秀トモキタ信長を弒コロス羽柴秀吉ハシテ光秀を誅コロス其他トモ或ハ伐或ハ盟約メイヨクして天下始て一統イツトウを詔ミコトノ志シて秀吉を關白セキハクとなし姓を豊臣トヨトミと賜タマフふ○第百七代後陽成天皇ヤウセイと申イハす陽光院贈太上天皇ヨウカウインの御子正親町天皇マサノカミの孫也秀吉を太政大臣タウサウヂ不任フニし秀吉ヒデキを關白セキハクとす秀吉朝鮮クワンを伐ウツ且大子明ミナ

兵を破る明主メイシュ和を講コウず和破ワハきと再マタひ朝鮮クワンを攻む會秀吉クワイヒデキ疾イサ不フりて豊トヨむ是に於て兵を解トク諸將シヨウを召還シヨウケンす徳川家トクヱン康前田利家ヤスサキ等秀吉の遺命ユイメイを奉ホウじて秀ヒデキ頼ヨリを輔佐ホウサす後盟約メイヨク破ウツき家康ヤスヒコ石田三成イシダサネ

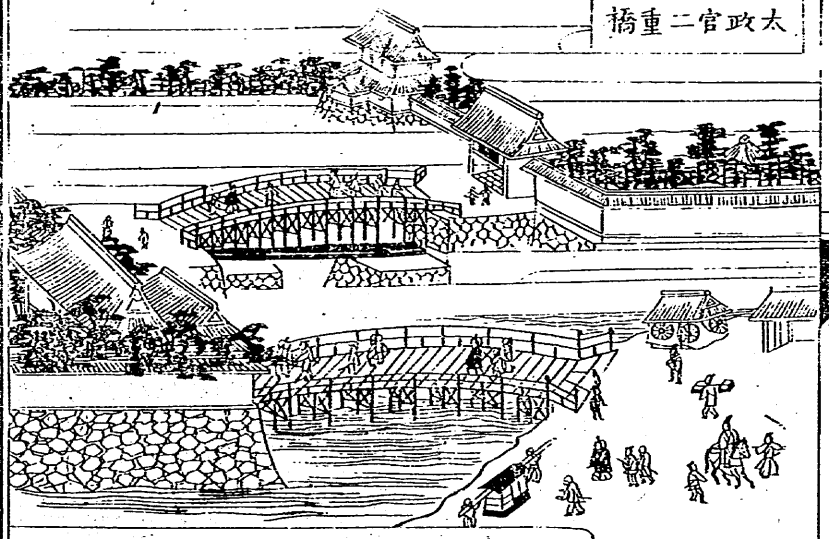
朝鮮征伐



等と關ヶ原関ヶ原に戦て大に勝天下悉く家康徳川家康に歸き家康を大將軍に任じ既ふして家康職を辭す其子秀忠を大將軍とすこれより徳川氏子々相繼て大將軍に任じ江戸に城を築き府を開く○第百八代後水尾天皇と申す後陽成天皇の御子也家康大阪を攻てこれ城破る秀頼自殺し豊臣氏亡ぶ○第九代明正天皇と申す後水尾天皇の御女也○第十代後光明天皇と申す後水尾天皇の御子也○第十一代後西院天皇と申す後水尾天皇の御子也○第十二代靈元天皇と申す

後水尾天皇の御子也徳川光圀徳川光圀彰考館を開き大日本史を撰す○第十三代東山天皇と申す靈元天皇の御子也○第十四代中御門天皇と申す東山天皇の御子也水戸に於て大日本史成て奏進す○第十五代櫻町天皇と申す中御門天皇の御子也○第十六代桃園天皇と申す櫻町天皇の御子也○第十七代後櫻町天皇と申す櫻町天皇の御子也○第十八代後桃園天皇と申す桃園天皇の御子也○第十九代光格天皇と申す自在王院宮親仁の御子東山天皇の曾

太政官二重橋



孫也○第百二十代
 仁孝天皇と申屯光
 格天皇の御子也追
 諡此典を廢せる事
 九九百年天皇これ
 を復し給ふ○第百
 二十一代孝明天皇
 と申屯仁孝天皇の
 御子也五箇國の條
 約成て武藏國横濱

に港みなとを開き貿易を専まことふは將軍徳川慶喜大阪に
 在て大政を行ふ列藩の有志復古此事を論ず天
 皇國事不憂苦し社稷宗廟の爲に規畫せざることを
 甚おそろ深遠あり大業未まぶ成なげして崩屯天下あはれを
 哀しむ○第百二十二代今上天皇孝明天皇の御
 子也徳川慶喜大政を歸納し天皇萬機を親裁し
 給ふ鏡倉以來凡七百年來の舊弊一洗して大政
 復古江戸を以て東京と改免皇居と屯神武天皇
 元年辛酉より今年辛未に至りて二千五百三十
 一年也